

URと住民の
みなさまをつなぐ
コミュニティペーパー

UR まど

No.251 隔月刊

2

2020

街に、ルネッサンス



UR

UR都市機構

<https://www.ur-net.go.jp/>

- 団地TOPICS / 美団地 / 気になるお店 4・5
暴力対策協議会を開催 6
ながらdeヨガ / 読者のひろば 7
彩りレシピ 8

編集・制作 ㈱高速オフセット

Enjoy Dancing!

まちびらき50周年に向け、 防災を通じてまちを活性化!

高の原駅西・
平城第2など
〈京都府木津川市・
奈良市〉

防災ポイントを
記した地図を片手に
いざ出発!



たかのはら防災ウォークラリー

11月17日、京都府と奈良県にまたがる高の原地区で初の試みとなる「たかのはら防災ウォークラリー」が開催されました。府県界を越えて歩くことで、まちを知り、防災意識の向上、健康づくりの促進、地域コミュニティの活性化を目的としてUR都市機構が中心となって実行委員会を設立。2019年夏頃より準備を進めました。

ウォークラリーには、おしゃれなウォーキングスタイルのシニア夫婦からベビーカーを押す若い家族まで幅広い世代が参加。奈良市立平城東中学校吹奏楽部による軽快な演奏に見送られながらスタートしました。コースは約5.1kmのレギュラーコースと約

2.4kmのらくちんコースの二つ。体力に合わせてどちらかを選び、避難所やAEDの設置場所を確認しながら歩きました。ゴール地点では奈良県立平城高等学校吹奏楽部による演奏や、防災関連ブースの出展により、高の原駅前広場は大いににぎわいました。

「高の原地区は2022年にまちびらき50周年を迎えます。これを機に、同地区がますます繁栄するきっかけになれば。」と語るのはUR都市機構西日本支社の浅野修一特命役。439人の参加をいただき大成功に終わり、防災を通じてまちの歴史の新たな1ページとなりました。



① 各ポイントで抽選会に参加できるスタンプをGET! ② スタンプを集め、ガラガラ抽選会に参加。どんな防災グッズが当たるかな? ③ 災害時にも役立つバーコードプレスレットの講習会も開催

私の団地自慢

三世代で団地ライフを満喫!

細川 秀人さん



定年退職後に1年かけて住む場所を探し、見つかったのが高の原駅西団地です。周辺には大型商業施設や図書館があり、とても便利。京都や奈良にも電車1本で行けるので、車がなくても困りません。

遊歩道も整備されているので、お子さんからお年寄りまで安心して歩けるのも魅力です。娘家族も静かな住環境を気に入って、同じ団地に引っ越ししてきました。孫にすぐ会えるのがうれしいですね。



避難所やAED、災害時に使える自動販売機などを分かりやすく記したオリジナルの防災マップ

水漏れ・断水・停電などのトラブルがあった場合
24時間緊急事故時の連絡先

緊急事故受付センター

☎0570-004-001
(または ☎ 06-6969-2151)